



## てんけんじゃく 天険若夷

2026年2月26日

発行責任者 菅野 拓哉

JR貨物労組九州地本青年部

### JR貨物労組 2026 JR総連春闘スタート！！

～ベア 18,000円満額回答をめざして第1回交渉実施！～

JR貨物労組は2月18日、「2026年度新賃金申し入れ」と「諸要求改善に向けた申し入れ」として、ベースアップ18,000円の一律額回答と113項目にも及ぶ組合員の要求事項を会社に申し入れ、団体交渉にのぞみました（詳しくは貨物労組HP「交渉速報」をチェック）！

1月27日、南長岡駅構内において21歳の青年部員が両足を失う痛ましい労働災害が発生しました。真の原因究明と再発防止策を構築する必要がありますが、環境が整っていても要員が不足しているは意味がありません。これ以上の離職防止と新規採用確保にむけ、今こそ大幅な賃上げが急務です！！これはJR貨物だけでなく、関連会社である九州ロジやFLも同じです！！

今春闘は賃上げ闘争をベースに、職場環境を整える「安全春闘」でもあり、関連会社への賃上げ波及をねらう「労連春闘」でもあります。JR総連・JR労連の仲間と共に、最後まで闘い抜きましょう！！

### 九州地本第39回地方委員会・三単組合同春闘決起集会開催



薬師寺副青年部長が青年部の増大を報告

↑春闘決起集会で各単組が決意を示し、春闘勝利におけ  
団結ガンパロー！！

←地方委員会で春闘の取組み方に物申す薬師寺副青年部長

議長は門司機関区分会青年部の石津青年部長→



九州地本は2月22日「第39回地方委員会」を開催し、地本大会から今日までの経過と2026JR総連春闘を含む今後の運動方針を確認しました。

本委員会には地本青年部から薬師寺副青年部長が出席し、これまでの活動報告と現状青年部が抱える課題について示され、26春闘を青年部としてどう取り組むかを表明しました！

この中で、春闘標語や職場集会といった取り組みについて、「『ただ数を集めるだけ』では団結力を会社に示すことができない！」「参加した組合員一人ひとりが春闘の意味を理解して闘うべきである！」「そのためには、本部・地本も本気で取り組むと同時に、支部・分会役員がしっかり協力すべき！」との発言を行ない、参加した各級機関の代表に喝と檄を飛ばしました！

地方委員会後には、JR貨物労組・九州ロジ労組・FL労組の三単組合同「春闘決起集会」を行ない、各単組の代表が今春闘をどう闘うか、決意表明を行ないました！

職場で奮闘するすべての青年部員とその家族のために、九州地本青年部は全力で26春闘を闘い抜くぞ！！